

令和3年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

令和3年6月15日



発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合

付着稚貝数は低調に推移しています。

<調査結果の概要>

- 唐丹湾の水深10m層の水温は13.5℃で、昨年度同時期と比較して約2℃高くなっています。透明度は7mでした。
- 唐丹湾において、ホタテガイ付着稚貝が36個/袋（採苗器7日間垂下）確認され、付着数は前回に引続き少数となりました（45個→36個/袋/週）。県南部の他の調査点においても、付着数はわずかでした。釜石湾平田では、442個/袋（採苗器28日間垂下）の付着が確認されましたが、殻長1,500μm以上の個体が主体であり、付着直後の個体は確認されませんでした。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が66個/m³、200μm以上の大型個体が22個/m³確認され、大型個体の出現数は前回に引続き少数となりました。

<宮城県の状況（6月14日発行ホタテガイ採苗通報（第8報））>
週間の付着稚貝数が減少。

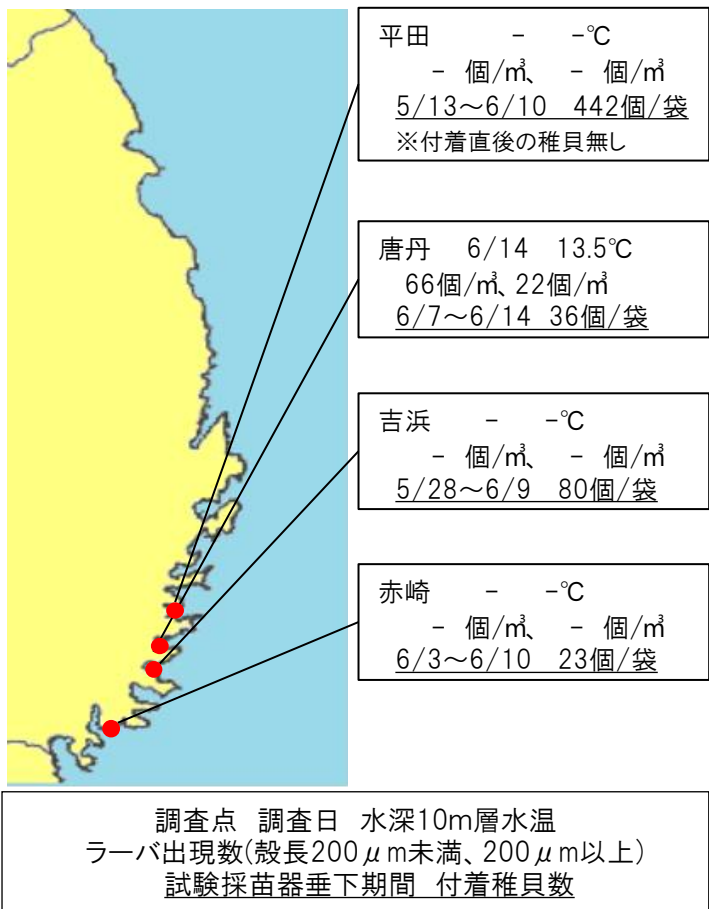


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月22日頃に
発行する予定です。

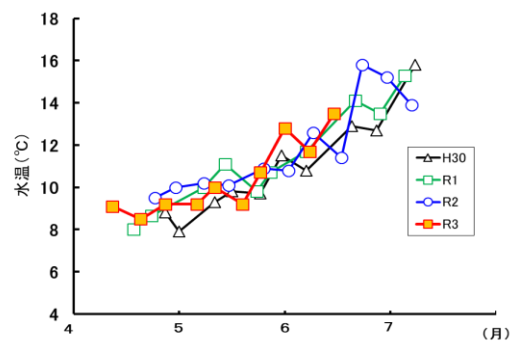


図2 唐丹湾における水深10m水温

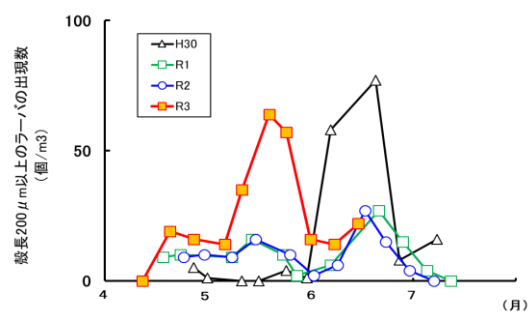


図3 唐丹湾における殻長200μm以上ラーバ出現数

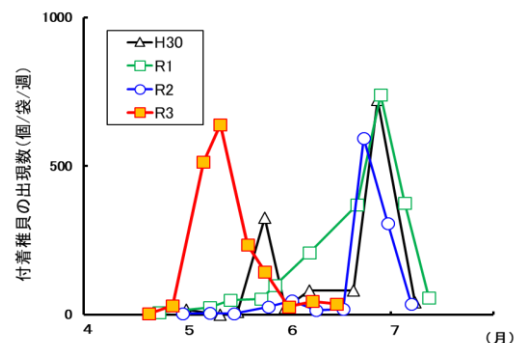


図4 唐丹湾における1週間あたりの付着数